

令和 2 年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価に関する報告書
(令和元(平成 31)年度事業対象)

令和 2 年 8 月

飯山市教育委員会

目 次

I 点検・評価制度の概要	1
1 自己点検・評価の考え方	
2 点検評価の対象事業	
3 点検評価の方法	
II 点検評価の結果	2
1 教育委員会及び教育委員の活動	2~5
（1）教育委員会及び教育委員の令和元(平成31)年度開催実績	
（2）その他の会議・活動	
2 教育委員会事務局の事務事業評価の結果	6~33

I 点検・評価制度の概要

1 自己点検・評価の考え方

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

教育行政の推進にあたり、その政策効果を把握し、必要性、効率性等の観点から自ら点検・評価を行い、その結果を公表することは、政策立案を的確に行うとともに住民に対する説明責任を果たす上で重要なことです。

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和元(平成31)年度の教育委員会事務事業について自己点検・評価を実施した結果をまとめたものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検評価の対象事業

点検・評価の対象は、原則として、教育委員会会議及び委員の活動、事務局が重点事業として取り組んだ主な事務事業としています。重点事業の目安として、飯山市総合計画の3か年実施計画に掲載（ハード500万円以上、ソフト100万円以上の2次経費＋新規事業）及び、その他必要と認めるものとし、飯山市総合計画の重点施策項目により配列しました。

3 点検評価の方法

教育委員会会議及び委員の活動については年間の活動状況を報告し、事務事業については対象事業ごとに、取り組み内容及び結果、決算額、評価、今後

の取り組み・課題等を掲載したものを報告します。

なお、評価にあたっては、飯山市総合計画、飯山市総合戦略、飯山市教育大綱に掲げる目標数値やコストとのバランスなどを勘案し、次の4区分の評価とします。

「順調」…優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている

「概ね順調」…優れた取り組みがいくつかあり、成果は上がっている

「要検討」…一定の成果は上がっているが課題もあり、改善の必要がある

「要改善」…成果は十分上がっておらず、改善の余地が多く抜本的な見直しが必要

Ⅱ 点検評価の結果

1 教育委員会議及び教育委員の活動

(1) 教育委員会議の令和元（平成31）年度開催実績

教育委員会議は、毎月1回定例会を開催するほか、必要に応じて臨時会を開催しており、令和元年度においては、次のとおり会議を開催し、審議を行いました。また、議決事項以外に台風19号災害の被害状況、新型コロナウイルス感染症対策についてなど、緊急性の高い行政課題全般について協議・報告を行いました。

○会議回数13回、審議案件32件

開催日	議 決 事 項
4月19日	・飯山市美術館運営協議会委員の委嘱について ・飯山市公民館地区館長、専門部員の任命、委嘱について ・飯山市社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱について ・飯山市スポーツ推進委員の委嘱について ・専決処分(区域外就学)の承認を求めることについて
5月30日	・飯山市図書館協議会委員の任命について ・飯山市美術館運営協議会委員の委嘱について ・令和元年度飯山市一般会計6月補正予算案(教育委員会関係)について
6月24日	・専決処分(区域外就学)の承認を求めることについて
7月19日	議決事項なし

8 月 19 日	・令和 2 年度小中学校教科用図書の採択について ・令和元年度飯山市一般会計 9 月補正予算案（教育委員会関係）について ・教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
9 月 24 日	・議決事項なし
10 月 21 日	・議決事項なし（台風 19 号災害について報告）
11 月 22 日	・専決処分(区域外就学)の承認を求めることについて ・通学区域外就学の許可について ・令和元年度飯山市一般会計専決予算および 12 月補正予算案（教育委員会関係）について
12 月 24 日	・飯山市公民館地区公民館長の任命について ・飯山市公民館専門部員の委嘱について
1 月 21 日	・通学区域外就学の許可について ・専決処分(区域外就学)の承認を求めることについて
2 月 26 日	・令和 2 年度飯山市一般会計予算案（教育委員会関係）について ・令和元年度飯山市一般会計 3 月補正予算案（教育委員会関係）について
3 月 2 日	・令和 2 年度飯山市立小中学校校長の内申について
3 月 25 日	・飯山市公民館長の任命について ・飯山市公民館地区公民館長の任命について ・飯山市公民館専門部員の任命について ・通学区域外就学の同意について ・飯山市立小中学校職員の勤務時間に関する規程の一部改正について ・飯山市 L D 等通級指導教室実施要領の一部改正について

（２）その他の会議・活動

・教育委員協議会（定例会前）４回

・総合教育会議

市長の招集により教育長・教育委員が出席し、飯山市の教育行政全般について、報告、情報共有および協議を実施した。

- 7月19日：飯山市学校・保育園適正規模等検討委員会について
教育大綱の進捗状況について
幼児教育・保育の無償化について
岳北地域の高校の将来像を考える協議会の経過について
ほか
- 1月21日：飯山市学校・保育園適正規模等検討委員会答申について
岳北地域の高校の将来像を考える協議会 意見・提案について
ほか

- ・学校・保育園適正規模等検討委員会（教育長及び教育長職務代理）
 - 諮問：「飯山市保育園・学校課題検討委員会の答申に基づいた、具体的な学校及び保育園の適正規模や配置等に関すること」
平成31年1月の課題検討委員会答申を受け、飯山市の小中学校・保育園の具体的な適正規模及び適正配置について、教育長より諮問。
 - 経過：平成31年1月、課題検討委員会から「小学校は1学級20人以上の複数学級、中学校は1学級30人以上の複数学級を維持できる規模と配置。保育園は小学校区単位に配置を基本とする。」との答申。それを踏まえ、具体的な規模と配置を検討。
 - 委員会：7月28日、8月20日、10月28日、11月25日、
12月25日 計5回
 - 答申：令和2年1月17日、佐藤正行検討委員会委員長より教育長に対し、「飯山市にとっての小中学校の適正規模と配置として、1学年複数学級の規模を基本に将来的に小学校2校、中学校1校とし、現在の中学校区単位で小学校を配置する。城北校区小学校は概ね5年後、城南校区小学校は概ね10年後、中学校統合は概ね15年後を目途とし、ふるさと学習やICT・英語教育の充実、小中一貫教育カリキュラムに取り組む。保育園は小学校区単位を基本とし、統合小学校の位置等が決定した段階に再検討する。」との答申をいただいた。

- ・校長・教頭・新任教諭辞令交付式（4月）
- ・保育園・小中学校入園・入学式（4月）

- ・ 保育園・小学校運動会（5・6・9・10月）
- ・ 中学校文化祭（9月）
- ・ 保育園・小中学校卒園・卒業式（3月）
 - ※新型コロナウイルス感染予防のため教育委員臨席せず市長メッセージ発出
- ・ 教育委員交代：樋口一男教育委員（10月7日まで）、
松木英文教育委員（10月8日～）
- ・ 県主幹指導主事学校訪問（6月・9月・10月）
- ・ 飯水地方教育委員会連絡協議会総会（5月30日：飯山市役所）
- ・ 学校・保育園訪問：7月9日 城北中 9月5日 泉台小
6月25日 いずみだい保育園 6月26日 とがり保育園
- ・ 市PTA連合会との懇談会（6月28日）
- ・ 長野県女性教育委員連絡協議会総会、研修会 出席（6月18日：伊那市、
9月30日：小布施町）
- ・ 中高飯水教科用図書採択研究協議会（6月・8月）
- ・ 長野県市町村教育委員会連絡協議会総会・研修会出席（10月11日：飯田市）
- ・ 第50回飯水小学校スキー大会（2月7日） ※寡雪のため中止
- ・ その他各種会議、大会、式典等への出席多数

2 教育委員会事務局の事務事業評価の結果一覧

No	重点施策名	事業名	評価	担当課
1	学力・体力向上事業の充実	学力向上総合対策事業	概ね順調	子ども育成課
2		中学校国際交流事業	概ね順調	子ども育成課
3		英語教育推進事業	順 調	子ども育成課
4		教師用教科書指導書購入事業	概ね順調	子ども育成課
5	教育環境と教育施設の充実及び検討	小学校施設整備事業	概ね順調	子ども育成課
6		心の教室相談員設置事業	概ね順調	子ども育成課
7		特別支援教育支援員配置事業	概ね順調	子ども育成課
8		小中学校図書館図書整備事業	順 調	子ども育成課
9		平和学習事業	順 調	子ども育成課
10		教育指導主事設置事業	順 調	子ども育成課
11		不登校児童生徒支援事業	概ね順調	子ども育成課
12		小学校施設リニューアル整備事業	順 調	子ども育成課
13		小学校エアコン緊急整備事業	順 調	子ども育成課
14		中学校エアコン緊急整備事業	順 調	子ども育成課
15		小中学校 I C T 教育推進事業	概ね順調	子ども育成課
16		中学校スクールバス運行事業	概ね順調	子ども育成課
17		防犯カメラ設置事業	順 調	子ども育成課
18		学校教育事務局費	概ね順調	子ども育成課
19		小学校災害復旧事業	順 調	子ども育成課
20	地域で支える教育環境の推進	冬期学校スポーツ振興事業	順 調	子ども育成課
21		総合教育推進事業	順 調	子ども育成課
22		中学校部活動支援事業	要検討	子ども育成課
23		育英資金貸付事業	概ね順調	子ども育成課
24	生涯学習環境の充実・生涯学習意識の高揚	飯山雪国大学事業	概ね順調	市民学習支援課
25		地区館事業	順 調	市民学習支援課
26	知の循環型社会の構築推進・図書館の充実	読書普及事業	順 調	市民学習支援課

No	重点施策名	事業名	評価	担当課
27	伝統文化の尊重・継承	文化財調査整備事業	概ね順調	市民学習支援課
28		文化的景観保護推進事業	順 調	市民学習支援課
29	地域文化の学習推進、情報発信	ふるさと学習推進事業	概ね順調	市民学習支援課
30		丸山邦雄顕彰事業	概ね順調	市民学習支援課
31	芸術文化の振興	芸術文化振興事業	概ね順調	文化交流課
32		企画展開催事業	概ね順調	文化交流課
33	文化交流館「なちゅら」の多面的活用	飯山市文化交流館運営事業	概ね順調	文化交流課
34	スポーツやレクリエーションの振興	スポーツ振興事業	概ね順調	スポーツ推進室
35		ジュニアスポーツ振興事業	概ね順調	スポーツ推進室
36		スポーツツーリズム推進事業	概ね順調	スポーツ推進室
37		第101回全国高等学校野球選手権大会飯山高校出場応援事業	順 調	スポーツ推進室
38		第70回全国高等学校総合スキー体育大会開催事業	概ね順調	インターハイ準備室
39	スポーツ関連施設の維持・充実・強化	体育施設整備事業	概ね順調	スポーツ推進室
40		飯山市民体育館耐震化事業	順 調	スポーツ推進室
41	人権意識の向上	人権同和教育推進事業	概ね順調	人権政策課
42	男女共同参画社会づくりの推進	男女共同参画推進事業	概ね順調	人権政策課
43	子育て支援の推進	児童手当給付事業	順 調	子ども育成課
44		児童扶養手当等等給付事業	順 調	子ども育成課
45		延長保育委託事業	順 調	子ども育成課
46		通園バス運行事業	概ね順調	子ども育成課
47		児童クラブ等運営事業	概ね順調	子ども育成課
48		幼稚園就園奨励事業	要検討	子ども育成課
49		幼児教育無償化事業	順 調	子ども育成課
50		児童福祉施設整備事業	概ね順調	子ども育成課
51		保育園エアコン緊急整備事業	順 調	子ども育成課
52	地域で支える子育て環境整備の推進	家庭児童相談室設置事業	概ね順調	子ども育成課
53		飯山市子ども館等運営事業	概ね順調	子ども育成課

事業名・担当課	No. 1	学力向上総合対策事業	子ども育成課
事業概要	市と校長会が連携し飯山市学力向上事業（第5次学力向上事業（2018～22）の2年次）の取組みを継続的に推進し、小中高連携による学力向上の取組、研修会等を実施、市費加配の学力向上支援員を小中学校に配置。		
取組内容及び成果	・学力向上支援員の配置：秋津・泉台・常盤・飯山・東・木島小：各1名、城南・城北中：各2名、計10名 - きめ細かな少人数指導及びTT指導が実現できた。 ・授業改善指導を信州大学教育学部教授へ依頼し、指導を実施。 ・小中高の校種間連携、連携担当教員の配置により、12年間を見通す効果的なカリキュラム研究を推進し、校種を超えたTTの実践やこれまでのつまずき調査や学習意識調査に基づく教材研究と指導方法により、学力向上のための授業改善がはかられた。 （7/11 中高交流学力向上研究発表会（城北中・飯山高）） ・学力向上夏期研修会（7/29 飯山小） - 講師：笠井健一氏（国立教育政策研究所教育課程調査官） - 演題：新学習指導要領全面实施に向けた授業改善の要点 ・全国学力標準テストと意識調査（4月・12月） - 小学生2教科、中学生5教科、学習意識調査を全児童生徒を対象に実施し、個人や学級ごとの学力分析を行い、授業改善や指導に活用。		
決算額	17,895 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	数学・英語を中心に学力標準テストの結果分析を効果的に活用するとともに、中高連携、信州大学の指導、新学習指導要領実施にむけた職員研修を充実させ、教師力・授業力の向上を図りたい。		

事業名・担当課	No. 2	中学校国際交流事業	子ども育成課
事業概要	平成13年から中国深圳外国語学校と飯山第一中学校そして飯山市教育委員会が交流を継続。また平成26年に豪州バサーストハイキャンパス校と姉妹校協定を締結し、市内中学校との交流を通し生徒の視野を広げ、国際化社会に対応できる人材育成を目指す。両校と相互に訪問、ホームステイや授業参加などで交流を行う。		
取組内容及び成果	・令和元年度は10月にバサースト校から21名の訪問団を受け入れ、ホームステイや学校での交流を実施し、11月には生徒10名と引率3名がオーストラリアバサースト校などを訪問した。 ・相互の学校での授業参加等を通じて、異文化交流、国際理解のための経験を積むことができた。 ・7月に予定した深圳の生徒受入は相手都合により取りやめ。		
決算額	5,825 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	・より多くの生徒が中国、オーストラリアの生徒と交流し、国際感覚や外国語力を高めることが望まれる。 ・深圳からの訪日取りやめや新型コロナウイルス感染症の影響により、2年度以降の交流のあり方は課題。		

事業名・担当課	No. 3	英語教育推進事業	子ども育成課
事業概要	英語教育の充実、児童生徒の英語力向上のため、英語指導主事の雇用、小中学校の英語指導助手（ALT）配置、中学校の英検受験補助事業を行った。		
取組内容及び成果	・小学校に4名、中学校に2名のALTを配置し、小学校3～6年のすべての外国語活動の時間にALTが係わり、新学習指導要領の小学英語スタートに向けた体制が整った。 ・外国語教育強化のため、英語指導主事1名を雇用し、中学校英語科と小学校外国語活動の教職員への指導、ALTとの連携などの取組を実施。学校の授業づくりと振り返り指導を継続的に行い、効果的な授業改善が図られた。 ・中学生の英検受験料補助は3年目、49名に104千円を補助し、中学3年生の3級以上取得率は32.8%と大きく向上した。		
決算額	25,079 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	ALTおよび小学校教員の英語指導力の向上が望まれる。また、英検補助のあり方、GTECなど他のテストの利用も検討していく。 飯山市の子どもたちが生きた英語に触れ、確かな英語力を獲得できるよう取組を継続する。		

事業名・担当課	No. 4	教師用教科書指導書購入事業	子ども育成課
事業概要	令和2年度（小学校）、3年度（中学校）からの新たな教科書の使用開始に向け、教師用指導書及び教科書を購入し、新学習指導要領に沿った教育活動の実践と指導力向上を推進する。		
取組内容及び成果	・令和元年度は小学校用の指導書等を購入。各校の意向と予算額の調整を行って、一括購入した。 ・指導者用デジタル教科書やデジタル指導書の整備要望もあったが、価格が折り合わず今回は見送りとした。		
決算額	7,616 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	令和2年度は小学校の下巻分と中学校の指導書等を購入するが、デジタル教材へのニーズは一層高まるため、予算との兼ね合いも含め、課題である。		

事業名・担当課	No. 5	小学校施設整備事業	子ども育成課
事業概要	小学校施設の老朽箇所の修繕を行い備品等を整備した。		
取組内容及び成果	防火設備定期点検に伴う是正工事 534千円 秋津小学校体育館照明器具更新工事 3,828千円 戸狩小学校スクールバス車庫設置工事 2,057千円 秋津小学校給食調理室給湯器更新工事 825千円 木島小学校給食室調理用シンク更新工事 1,375千円 飯山小学校側溝整備(復旧)工事 198千円 飯山小学校グラウンド整備工事 121千円 小学校デジタル印刷機更新 455千円 他 小学校7校の小破修繕、備品整備、消耗品購入等を実施		
決算額	12,057 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	老朽化による修繕要望は多数あり、すべてに対応することは難しい。今後の学校配置の見通しも含め、長寿命化計画の策定が求められている。		

事業名・担当課	No. 6	心の教室相談員設置事業	子ども育成課
事業概要	城南・城北中の各学校に生徒からの相談を受ける「心の教室」を設置し、相談員（2名）を雇用。		
取組内容及び成果	心の教室相談員は思春期の悩みや迷いの中にある中学生に対し、声掛けや相談活動を行うことを通じ、心配を取り除くとともに不登校の早期発見・早期対応に努めている。これにより県や国に比較し当市の不登校生徒在籍率は低く推移しているが、中学校の不登校生は増加傾向が続いている。 また、心の教室は登校はできるものの教室に入れない生徒の居場所にもなっており、教室での学習に向けた足がかりの場としても有効に機能している。 不登校生徒在籍率H24年4.41%(県3.79・国3.42)⇒H29年2.24%(県4.54・国4.31)⇒H30年2.90%(県3.84・国3.65)⇒R1年5.43%		
決算額	2,638 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	「心の相談員」「不登校対策支援員」「中間教室指導員」等のそれぞれの役割と連携を明確化しながら、当市ならではの「不登校防止、早期対応」の有効な体制やシステム構築、学校外機関との連携についても検討していく必要がある。		

事業名・担当課	No. 7 特別支援教育支援員配置事業		子ども育成課
事業概要	日常生活や学習に支援や配慮が必要な児童生徒に対応する支援教員及び介助員を小中学校に配置する。		
取組内容及び成果	教育現場の状況に応じて、支援員（市費非常勤職員）を配置。 インクルーシブ教育の浸透により、特別な支援が必要な児童生徒が通常学級で学習・活動する場面が増加、発達障がいを抱える児童生徒の増加傾向もあり、市費の支援教員や介助員を各校に配置した。元年度は外国籍児童への日本語指導支援員1名（2学期から）を含め、計8名が個々の児童生徒の特性に応じた指導や支援にあたった。 配置人員：飯山(3)・泉台(1)・常盤(1)・戸狩(1)・木島(1)・城南(1) 計 8名		
決算額	9,051 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	インクルーシブ教育、障がいのある児童生徒への合理的配慮等を備えた特別支援教育の実現のためには、地域ぐるみの支援体制の構築が望まれる。飯山小学校の通級指導教室（県費）や飯山養護学校との連携を推進するとともに、障がいのある子どもや保護者の多様なニーズに応えるためにも支援員や介助員の配置は今後も必要である。		

事業名・担当課	No. 8	小中学校図書館図書整備事業	子ども育成課
事業概要	学校へ予算配当し、小中学校の図書館図書の充実を図る。		
取組内容及び成果	学校図書館図書標準に基づき、学校へ予算を配当し児童生徒用の図書を購入した。平成28年度に導入した学校図書館用システムを活かしつつ学校図書館司書（嘱託・兼務有）による、図書室の魅力アップも図られている。 小中学校の年間ひとりあたり図書貸出冊数 小学校 91 （前年比△6） 中学校 33 （前年比＋2）		
決算額	4,085 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	計画的に各学校で図書を購入し、古い図書の廃棄や整理もあわせて進め、利用したくなる図書館づくりが必要。		

事業名・担当課	No. 9	平和学習事業	子ども育成課
事業概要	8月6日広島平和式典への参列(中学生10名)及び満蒙開拓団の授業(中学3年生)等、平和の大切さについて中学生が学習した。		
取組内容及び成果	・平成28年度から中学3年社会科歴史的分野において、「第二次世界大戦と満蒙開拓団」の単元名でカリキュラムを作成し授業を実施。満蒙開拓平和記念館の三沢重紀事務局長の講演会を両中学校で実施(7/12)。 ・今年度も8月5日から6日に10名の中学生が広島を訪れ、平和祈念式典に参加するなど、原爆の悲惨さや平和の大切さを実感する学習を実施。参加した生徒たちは文化祭などで報告し、学習の成果を全校で共有している。		
決算額	737 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	満州引揚にかかわる丸山邦雄氏の業績等を授業に取り込むなど、生徒が主体的に関わる飯山らしい平和学習をさらに工夫していく必要がある。		

事業名・担当課	No. 10	教育指導主事設置事業	子ども育成課
事業概要	学校における教育課程、学習指導その他専門的事項の指導のため、教育指導主事を雇用した。		
取組内容及び成果	・校長会と連携し第5次学力向上事業、飯山高校との中高交流学力向上事業を推進し、市内小中学生の学力向上に努めた。 ・不登校対策委員会を実施し、不登校者数の減少のための取組を実施。 ・いじめ問題や学校事故対策など、教育現場における諸課題に対して校長と連携を図りながら解決にあたり、安定した教育環境の構築に努めている。		
決算額	2,333 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	学力向上への積極的なアプローチの継続的实施、学校に対して授業改善や学校運営についての専門的支援を行う必要性が、ますます高まっている。		

事業名・担当課	No. 11	不登校児童生徒支援事業	子ども育成課
事業概要	長期の不登校生及びその家庭への支援・指導を行うため、両中学校へ不登校対策支援員（3名）を雇用した。		
取組内容及び成果	支援員は、長期欠席や引きこもり傾向にある不登校生徒に対して、自宅と学校間の登下校支援や家庭訪問を行うことにより、対象生徒及び保護者との信頼関係を築きながら、登校意欲を喚起。各種相談や学習支援、進路実現に向けた相談活動等を実施し、中3生の進路決定にも貢献。ただし、全体の不登校生数は増加。 不登校対策委員会 6/25、2/25 中学校不登校者数 30名 (H24)⇒12名 (H25)⇒11名 (H26) ⇒6名 (H27)⇒6名 (H28)⇒11名 (H29)⇒16名 (H30)⇒29名 (R1)		
決算額	2,511 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	長期不登校生だけでなく不登校傾向の児童生徒が増加しており、その原因の見極めと適切な支援が必要。小学校も含め、校外も含めた多様な人材がかかわる支援チーム体制も検討したい。		

事業名・担当課	No. 12	小学校施設リニューアル整備事業（H30繰越）	子ども育成課
事業概要	国の交付金等を活用し、設置後一定年数が経過した小学校のリニューアル工事を実施した。		
取組内容及び成果	平成30年度の国の補正予算により採択されたリニューアル事業を令和元年度に繰越して施工。 泉台小学校トイレ改修設計管理委託 1,617千円 泉台小学校トイレ改修工事 38,973千円 懸案の泉台小トイレ改修が完了し、児童・教職員に大変喜ばれ、教育環境が向上した。		
決算額	40,590 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	令和元年度末に木島小学校トイレ改修が採択となり、令和2年度に繰越して施工することで、小学校のトイレ改修がすべて終了する。市内小学校はいずれも建築後30～40年が経過しており、今後の施設管理は高コスト化が予想される。長寿命化計画を策定するとともに、学校統合の方向性も踏まえ、国の交付金等を使いながら計画的に大規模改修を行い、教育環境の向上を図る必要がある。		

事業名・担当課	No. 13	小学校エアコン緊急整備事業（H30繰越）		子ども育成課
事業概要	平成30年度の猛暑を受けて国の特例交付金を活用して小学校にエアコンを設置し、学習環境の向上を図る。			
取組内容及び成果	小学校の普通教室・図書室・職員室・給食調理室等に空調設備を設置。 ・国の補正予算による特例交付金の採択を受け、平成30年度12月補正予算で事業化し設計完了後、令和元年3月に施工の入札と契約をし、繰越して7月末に完了。			
	秋津小空調設備設置工事		24,840千円	
	飯山小空調設備設置工事		41,904千円	
	泉台小空調設備設置工事		24,948千円	
	常盤小空調設備設置工事		22,788千円	
	東小空調設備設置工事		21,492千円	
	戸狩小空調設備設置工事		28,728千円	
	木島小空調設備設置工事		23,220千円	
教室ごとのエアコン設置が完了し、小学校の教育環境が飛躍的に改善した。				
決算額	187,920 千円		評価	順調
今後の取組・課題等	要望の多かった学校へのエアコン設置が実現し、学習環境が向上し、児童および職員の健康管理にも大きな成果があった。未設置の特別教室やランチルームへの増設が今後の課題となる。			

事業名・担当課	No. 14	中学校エアコン緊急整備事業（H30繰越）		子ども育成課
事業概要	平成30年度の猛暑を受けて国の特例交付金を活用して中学校にエアコンを設置し、学習環境の向上を図る。			
取組内容及び成果	中学校の普通教室・図書室・職員室等に空調設備を設置。 ・国の補正予算による特例交付金の採択を受け、平成30年度12月補正予算で事業化し、3月に施工の入札・契約を実施、元年度に繰越して7月末に完了。			
	城南中空調設備設置工事		43,200千円	
	城北中空調設備設置工事		31,968千円	
	教室のエアコン設置が完了し、中学校の教育環境が飛躍的に改善した。			
決算額	75,292 千円		評価	順調
今後の取組・課題等	要望の多かった学校へのエアコン設置が前進し、学習環境が向上し、生徒および職員の健康管理にも大きな成果があった。今後は、未設置の特別教室等への設置が課題。			

事業名・担当課	No. 15	小中学校 I C T 教育推進事業	子ども育成課
事業概要	新学習指導要領において必須であるICT教育の推進のため、器機整備、無線LAN環境整備等を計画的に実施。学校のICT活用委員会とも連携し、よりよいICT環境の整備方策を探っている。		
取組内容及び成果	・元年度は、中学校へのタブレット端末整備等を計画していたが、国のGIGAスクール構想にともなう事業化のため、翌年度に持ち越すこととした。 ・新たに、プログラミング教育等に係る長野高専への支援開発委託を実施。木島小学校でのプログラミング公開授業を実施。 ・3月の新型コロナ対策臨時休校時から、ICTを活用した遠隔授業などについて、ICT活用委員会で研究。 小学校指導者用タブレットPC購入（小中学校34台） 1,574千円 校務用PC購入（小中学校50台） 5,562千円 I C T教育・プログラミング教育の推進支援事業 500千円 （国立長野高専に教育現場での実践の研究・指導を委託 7/25契約）		
決算額	8,218 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	予定の機器整備には至らなかったが、GIGAスクール構想により、2年度以降小中学校のICT環境は飛躍的に向上する。今後整備される機器とソフトを教育現場で有効に活用していくことが課題。		

事業名・担当課	No. 16	中学校スクールバス運行事業	子ども育成課
事業概要	中学校のスクールバス運行委託に併せて、生徒数の変動によるバスの不足を補うため城南中スクールバス整備を実施。		
取組内容及び成果	令和2年度からの木島地区生徒数の増見込にそなえて、へき地補助金を活用して26人乗りスクールバス1台を整備。ドライブレコーダー装着。3月末に納車され、新年度からの活用ができた。		
決算額	27,708 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	中学校統合時に整備した車両の老朽化が進んでおり、計画的な更新が必要。あわせて、通学方法の基準見直しなども課題。		

事業名・担当課	No. 17	防犯カメラ設置事業	子ども育成課
事業概要	小中学校の昇降口付近に防犯カメラを設置し、児童生徒の登下校の安全対策や不審者対策に活用。		
取組内容及び成果	児童生徒の安全確保及び犯罪抑止のため、各校玄関・昇降口付近に防犯カメラを設置し、校内事務室等でデータ保存、確認が可能となった。 全9校への設置工事が3月末までに完了した。		
決算額	2,486 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	通学路への防犯カメラ設置の要望もあるが、教育委員会としての設置には限界があり、経費負担も含め今後の課題である。		

事業名・担当課	No. 18	学校教育事務局費	子ども育成課
事業概要	教育委員会事務局の基本的な事務執行に伴う事業費だが、元年度は小中学校等の適正配置にかかる委員会、岳北地域の高校に係る協議会の事務局業務を実施。		
取組内容及び成果	○学校・保育園適正規模等検討委員会（7/11～1/17） PTA関係者、学校長、保育園長、区長会など21名の委員を委嘱し学校等の適正規模等の諮問事項について検討協議いただき、適正な規模や配置についての最終答申を受理。 ○岳北地域の高校の将来像を考える地域協議会（4月～1月） 県教育委員会の高校再編方針を受けて、岳北地域の協議会の 共同事務局として、1市3村が参加する協議会の運営にあたる。 ○ 学校臨時休業対策費補助事業 457千円 新型コロナウイルス対策の一斉休業に伴う学校給食の補償及び給食費返還に伴う補助事業（国：2/3 補助）		
決算額	11,433 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	学校・保育園の適正規模適正配置については、答申を受けて教育委員会としての基本計画を令和2年度に策定し、市民への周知、意見聴収を経て実施計画へ。高校の協議会答申は県教委が計画に位置づけ、一方岳北地域の継続的協議組織設置へ。		

事業名・担当課	No. 19	小学校災害復旧事業	子ども育成課
事業概要	10月の台風第19号災害により冠水した飯山小学校グラウンドの災害復旧工事を実施		
取組内容及び成果	台風第19号災害で、辛うじて校舎への床上浸水はまぬがれたが、グラウンドや校舎周辺、プールなどが冠水した。 グラウンド以外の応急復旧は職員等により実施したが、グラウンドは冠水して土砂が堆積したため、復旧工事を施工した。 表面の堆積土砂の撤去と整地、グラウンド用土砂の補充を行い、積雪期をへて新年度に全面復旧できた。		
決算額	1,115 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	特になし		

事業名・担当課	No. 20	冬期学校スポーツ振興事業	子ども育成課
事業概要	飯山市の特徴的なスポーツであるスキーの振興を図るため、小学校2回、中学校1回のアルペンスキー教室を実施した。		
取組内容及び成果	小中学校で実施するアルペンスキー教室について、スキー学校への指導員委託や教職員・保護者のリフト料金、バス借上げ料を公費負担し、保護者負担軽減を図った。 スキー指導員委託料（小2回・中1回）1,731千円 リフト使用料・バス借上げ料（2回目） 1,140千円 飯山ならではのスキー教室を通じ、雪に親しみ雪の飯山の価値を実感できる教育が実践できたが、寡雪により回数減や対象学年を限定する学校もあった。		
決算額	2,870 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	ふるさと教育の一環として、クロスカントリースキー同様、引き続きスキーの普及に努めたい。		

事業名・担当課	No. 21	総合教育推進事業	子ども育成課
事業概要	総合的な学習や飯山らしい特色ある教育の推進のための、学校教育へのサポートを実施する。		
取組内容及び成果	・米づくり学習 小中学校で米づくり学習や米づくりを通じた地域との交流を支援。 ・総合的な学習の時間で、各学校が特色ある教育活動を実施。 総合的な学習：小3～中3 1クラス10,000円を交付。 市校長会補助：各校の特色ある活動への交付。 ・全小中学校でコミュニティスクールに取組み（文科省型3校、信州型6校）、地域との連携を模索。 ・ラフティング体験学習（7/11～9/6） 全小学5年生を対象に、千曲川でのラフティング体験学習を初めて実施。 学校ごとに全小学5年生164名が体験し、ふるさとの川の魅力と自然、などについて学んだ。 ・ペップトーク講演会（1/30） 教職員・保護者・スポーツ指導者等を対象に教育講演会を開催。		
決算額	2,870 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	米づくり学習やコミュニティスクールでは地域との協働のあり方、継続性が課題となる。ラフティング体験や総合学習、飯山らしい教育の推進により、ふるさとを知り、その魅力を感じとることを目指す。		

事業名・担当課	No. 22	中学校部活動支援事業	子ども育成課
事業概要	教職員の働き方改革の一環として、国県の補助を受けて中学校の部活動の外部指導者を部活動指導員として任命する。		
取組内容及び成果	・中学校の部活動顧問の時間外勤務削減策として、市が任命する部活動指導員に顧問にかわって指導いただいた。 ・令和元年度は城南中と城北中で2名ずつ4名の指導員を任命し、競技力向上と働き方改革を推進。 ・報酬1250円/時、年間269時間/人が上限。国県市が3分の1ずつの負担。一部交通費を市単独で支給。 ・クロスカントリースキー（城南2、城北1）、剣道（城北1）を任命し、専門的指導を実施。 ・部活動に代わる地域での体制検討が補助要件となったため、部活動サポート体制検討委員会を設置し、検討を開始。 ・活動時間や補助制度との整合性など、工夫しながら、効果的な制度活用を目指している。		
決算額	1,204 千円	評 価	要検討
今後の取組・課題等	他に職を持っている方への依頼のため、人選の難しさや活動時間の確保は課題である。また、教職員の働き方改革への検証や、地域での部活動に代わる体制検討の道筋など、課題は多い。		

事業名・担当課	No. 23	育英資金貸付事業	子ども育成課
事業概要	将来長野県の小中学校の教員を目指す大学生への無利子の奨学金貸付制度のため、育英基金に積み立てを行う。		
取組内容及び成果	平成26年度から教員志望の大学生向けの貸付制度を開始。 令和元年度の貸与対象者は8名、月額4万円を3か月ごとに貸付。基金からの年間貸与額は3,840千円。 令和元年度の償還対象者は4名で5月末の出納閉鎖までに予定の672千円が償還された。		
決算額	1,008 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	教員を目指す学生に限らず、一般の大学生に対する貸付も検討が必要。		

事業名・担当課	No. 24	飯山雪国大学事業	市民学習支援課
事業概要	講座やセミナーの開催を含めた、公民館の学習活動である雪国大学の運営を行う事業です。		
取組内容及び成果	・夏休み、春休み体験教室 ・女性セミナー ・子育てセミナー・各種講演会 ・各種成人講座等を開催しているが、台風19号災害の影響で、実施できなかった事業がある。 ・7/6平和講演会どこにもない国と満州に残された人々 中村高志 ・9/7大竹優プロ三段が語る囲碁の魅力 大竹優 ・10/5.6 演芸会 日光さる軍団さる回し講演 ・7/7-9 正受庵通学合宿		
決算額	934 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	公民館運営審議委員、運営委員等からの意見を聞き、市民ニーズの把握と時節の話題を取り込んだ事業に取り組む。		

事業名・担当課	No. 25	地区館事業	市民学習支援課
事業概要	各地区公民館での地域活性化及び各種講座・講演会の開催を行う事業です。		
取組内容及び成果	かたくり鑑賞会（秋津）、夏休み寺子屋（外様）、黒岩山観察会（外様）、富倉峠ウォーキング（柳原）、骨盤歪み改善講座（常盤）、歴史講演会（岡山）、信越トレイルを歩く（太田）、年越しそば講習会（瑞穂）、太田通学合宿、飯山老燃教室、水の学習（木島）、ときわ塾等の講師謝礼 各地区毎に多くの参加者がある。広域に募集できる事業には、地区外の方も多く参加している。		
決算額	1,352 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	・各地区の特性を活かした講座を開催し、地区以外の方も積極的に参加していただける事業に取り組む。		

事業名・担当課	No. 26	読書普及事業	市民学習支援課
事業概要	・図書館資料の購入。 ・読書の普及活動の推進。 ・セカンドブック（出生祝い）事業として絵本の贈呈。		
取組内容及び成果	・蔵書数131,418冊（うち笹本文庫10,479冊）前年比5,659冊増。 ・おはなしひろば（28回、延80組205人）、絵本とわらべうたの会（44回、286組581人参加）、ブックスタートの会（102人中69人参加、出席率68%）、親と子の絵本講座（4回開催、延べ9組参加）、保育園貸出（180冊ずつ年4回入替）、図書館まつりの開催、講演会講師として司書派遣等。 ・セカンドブック（出生祝い）12回 103人。		
決算額	4,681 千円	評価	順調
今後の取組・課題等	・公共図書館として資料購入の最低予算額400万円を堅持。 ・セカンドブック（出生祝い）事業の評価。		

事業名・担当課	No. 27	文化財調査整備事業	市民学習支援課
事業概要	埋蔵文化財・遺跡等の調査や整備を行い、文化財の保護につなげる。		
取組内容及び成果	- 発掘調査 7月－8月 田草尻川周囲土地試掘調査 - 山口城址・馬場古墳群 市指定看板標柱設置		
決算額	262 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	文化財保護法に基づき、適正な調査や整備を行っていく。		

事業名・担当課	No. 28	文化的景観保護推進事業	市民学習支援課
事業概要	国の重要文化的景観に選定された小菅を中心としたエリアについて、地域住民と連携を図りながら、景観の保護及び活用のための整備を進める。		
取組内容及び成果	- 重要構成要素である建物修理への補助 5 件 - 護摩堂修理地質調査委託 - 小菅護摩堂耐震診断業務委託 - 小菅護摩堂修理設計業務委託 - 保存整備検討委員会 2 回開催		
決算額	7,666 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	少子高齢化が進む小菅区において、多くの文化遺産を維持していくことは大きな課題である。また、地域住民が、文化財の指定などの規制により暮らしにくくならないよう、地元との連携を図り、地元住民と行政の信頼関係の構築が重要である。平成29年度に策定した「整備計画書」を基に今後の保存と活用に向けた整備を進めていく。		

事業名・担当課	No. 29	ふるさと学習推進事業	市民学習支援課
事業概要	飯山市の郷土に関する歴史、文化、自然などに関する一般展示、学習会企画展などを行い、飯山を学び、また、郷土愛を育む取組を推進する。		
取組内容及び成果	- 企画展の開催 - いいやまの手仕事展 - 善光寺地震から考える - 飯山の祭り展 - 新収蔵資料展 - 城下町ひな街道ひな人形展 - 体験教室(笹もち作り、しめ縄作り、まゆ玉作り、やしょうま作り 等) - 出張講座、館内学習他		
決算額	668 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	より魅力ある企画展や学習会などを企画し、市内外の大勢の人に「飯山」を知ってもらおうと同時に、飯山の大切な文化を後世に残していく。		

事業名・担当課	No. 30	丸山邦雄顕彰事業	市民学習支援課
事業概要	邦人の満州引き上げに尽力した、飯山市富倉出身の丸山邦雄氏の功績をたたえブロンズ像を制作設置する。		
取組内容及び成果	令和元年度中の完成を目指したが、新型コロナウイルス感染拡大により、除幕式実施日が令和3年度に延期になった事に伴い、完成期限を令和2年中とし、繰越明許を行った。 (丸山邦雄顕彰碑制作設置委託業務) ・受注者 藤澤美術鋳金工房 ・契約額 13,761,000円(税込) ・令和元年度(前払い金3割) 4,128,300円 ・旅費 67,820円		
決算額	4,196 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	公民館運営審議委員、運営委員等からの意見を聞き、市民ニーズの把握と時節の話題を取り込んだ事業に取り組む。		

事業名・担当課	No. 31	芸術文化振興事業	文化交流課
事業概要	市民の芸術文化活動を支援し、いっそうの関心を高め、芸術文化人口の増加と芸術文化水準の向上を図る。		
取組内容及び成果	・市民芸術祭(参加者数560名、来場者数1,480名) ・芸術文化月間(11団体が事業実施) 芸術文化市民団体が開催する事業に対し支援(補助)した。各団体の発表の機会の創出を目的の一つとすることで、互いに創作意欲を刺激しあう機会ともなった。 ・「新沢としひコンサート」(会場:文化交流館) 園児たちが普段はなかなか訪れる機会のない公共施設を訪れ、生で本格的な影絵劇を鑑賞することができたことは良い経験となり、芸術文化体験の入口となった。(園児及び保育士、保護者ほか168名参加)		
決算額	1,251 千円	評価	概ね順調
今後の取組・課題等	活動団体の構成員の高齢化が顕著である。若者層の芸術文化に触れる機会や活動の場の提供などに取り組んでいく必要がある。		

事業名・担当課	No. 32	企画展開催事業	文化交流課
事業概要	年間に企画展1回、ギャラリー展1～2回を開催し、幅広い美術に触れる機会を提供する。また、企画展作家や郷土の特色を活かしたワークショップなどを開催する。		
取組内容及び成果	○企画展「木原正徳展 ひとかたち《野に還る》」会期：9/1～11/4 市内太田大深出身の画家・木原正徳氏（東北芸術工科大学副学長・教授、二紀会委員）の人や動植物をテーマとした絵画作品を市内外に紹介した。入館者数：2,242人 ○ギャラリー展「こぶしの会 30周年記念展」会期：4/17～5/6 公民館で活動をしている日本画グループ・こぶしの会の会員7名が制作した日本画作品28点を紹介した。入館者数：374人 ○ギャラリー展「小橋城 鍋倉の森」会期：1/8～3/4 スキー写真家・小橋城（東京都出身）が鍋倉山に5年間通い続けて撮影した写真32点を紹介した。入館者数：574人		
決算額	2,486 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	郷土出身の美術家を中心に様々なジャンルの作品を取り上げていく。また、郷土の伝統工芸である和紙や地元の土を使ったワークショップを継続することにより、特色ある美術館を目指すことが重要である。		

事業名・担当課	No. 33	飯山市文化交流館運営事業	文化交流課
事業概要	多くの市民がいつでも気軽に利用でき、芸術・文化を契機とするにぎわいのあるまちづくりの拠点として事業展開する。		
取組内容及び成果	・自主事業の実施 多様なジャンル（落語、演劇、オペラ、津軽三味線、浪曲など10事業）を企画し、市民を中心に幅広い来場者に提供した。質の高い音楽やにぎわい企画などを広範に提供でき、多くの来場者の期待に応える事業ができた。このほか新型コロナの感染拡大により2事業を中止とした。 ・まちなか文化芸術振興 飯山市芸術文化協会に業務委託。商店街を起点に文化芸術を取り込んだまちづくりを目的として、地域に根差し、市民が日常から文化芸術に触れる機会を提供できた。		
決算額	7,063 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	当面、幅広い年齢層が館に気軽に訪れるような多様なジャンルを提供し事業展開を図る。特に普段来館機会の少ない若年層に足を運んでもらうための工夫を凝らす必要がある。		

事業名・担当課	No. 34	スポーツ振興事業		スポーツ推進室
事業概要	市スポーツ協会及びスポーツ関係団体、大会実行委員会等を中心に、誰もが気軽に楽しめるスポーツの環境を整備するため、各種教室や大会の開催、スポーツ選手の育成、強化の支援を行う。			
取組内容及び成果	・各種団体及びスポーツ大会への支援 スポーツ団体の活動を支援することで、市のスポーツの振興が図られている。 ・市民プール運営【33日間、入場者9,199人】 夏場の健康や体力向上、友人、家族などで楽しむ場が提供できた。 ・市駅伝大会【台風19号接近により中止】 大会は中止となったが、練習などでは地区での幅広い世代間の取り組みとして、選手と地域に連帯が生まれている。 ・全国スポーツ大会出場選手激励金【個人30、チーム4】 スキーのみならず、毎年多くの種目で全国で活躍する選手も増え、選手に対する期待感とスポーツに対する関心も高まっている。			
決算額	6,929 千円		評価	概ね順調
今後の取組・課題等	年少人口の減少と高齢人口の増加が進む現状から、年齢期に配慮した事業展開を進めている。			

事業名・担当課	No. 35	ジュニアスポーツ振興事業		スポーツ推進室
事業概要	市内の各種ジュニアスポーツ大会開催の支援とジュニアスキー活動に対する支援を行う。			
取組内容及び成果	・ジュニア陸上大会、ジュニア水泳大会、ジュニアクロスカントリー大会、ジュニア駅伝大会、市民レクリエーションスキー大会、サマージャンプ大会、市民スキーフェスティバル等の運営費支援 ・飯山市ジュニアスキー育成連絡協議会への支援			
決算額	4,992 千円	評 価	概ね順調	
今後の取組・課題等	地域の特色であるスキーを軸にしながら、各種スポーツへの参加を幼少期から取り組める環境の整備。 人口減による各種大会の参加者の減少により、今後の大会の存続が懸念されるが、質を落とさない大会運営など関係団体と協議をしていく。			

事業名・担当課	No. 36	スポーツツーリズム推進事業		スポーツ推進室
事業概要	スポーツ資源と観光産業を融合したツーリズム事業			
取組内容及び成果	・スポーツ大会開催を通じ、多くの市外参加者が飯山市を訪れている。 菜の花サイクルロードレース 280人参加 シクロクロスミーティング飯山大会 182名参加 菜の花ゲートボール大会 461人 85チーム参加 北信州ハーフマラソン大会 2,710人参加 四季折々の風景と食を満喫できる各種大会は、宿泊を中心とした観光産業に寄与し、市内外のスポーツを楽しむ人たちの交流の場になっている。			
決算額	4,050 千円		評価	概ね順調
今後の取組・課題等	大会日程やコース・場所は、参加者の増減に大きな影響を与えるので、慎重な選定を心がけ進めたい。 観光産業に寄与するスポーツ大会として、観光関係者など多くの市民の関心度を上げ、どう巻き込んで運営していくか課題である。			

事業名・担当課	No. 37	第101回全国高等学校野球選手権大会飯山高校出場応援事業		スポーツ推進室
事業概要	飯山高校が悲願の甲子園初出場を決めたことにより、地域の盛り上がりをいっそう促し、大会出場に対し支援と助成をする。			
取組内容及び成果	・市役所、飯山駅、道の駅に懸垂幕、横断幕の設置 ・市内各所にポスター、のぼり旗の設置 ・新聞等紙面へ広告協力 ・出場激励金の交付（関係市町村負担金）5,000千円 ・市報特別号の発行			
決算額	6,404 千円		評価	順調
今後の取組・課題等	雪国から甲子園の夢が叶い、この地に住むものや故郷を離れたもの、飯山に関わりのあるものなど、多くの人々が出場を祝い、盛り上がり、勇気と希望を与えられ、地域が一つになった期間であった。			

事業名・担当課	No. 38	第70回全国高等学校総合スキー体育大会開催事業	インターハイ準備室
事業概要	令和2年度に冬季インターハイを開催するための組織の設立及び事業計画の推進、並びに競技施設の整備と地元選手の強化を図る。		
取組内容及び成果	【組織の設置及び事業計画の推進】 ・実行委員会の設立、常任委員会、専門委員会の開催 【競技施設の整備、選手育成・強化】 ・アルペン計時用配線工事 7,480千円 ・ジャンプ台改修工事 7,898千円 ・スキー競技施設圧雪車購入 62,700千円 ・ジュニアスキー育成連絡協議会選手強化・育成補助金		
決算額	97,699 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	本年予定していたリハーサル大会が雪不足により3競技すべてキャンセルになったため、競技運営に不安が残る。 2027年ながの国体のスキー競技開催候補地となっており、運営のノウハウを継続させていくことが必要である。		

事業名・担当課	No. 39	体育施設整備事業	スポーツ推進室
事業概要	体育施設の維持修繕や改修により、施設利用者の安全確保と利便性の向上を進める。		
取組内容及び成果	・長峰休憩施設設計監理 864千円 ・長峰休憩施設整備工事 17,280千円 ・長峰休憩施設電気設備工事 2,200千円 ・弓道場板塀撤去、塀設置工事 1,350千円 ・市民体育館高圧受電設備改修工事 1,728千円 施設の老朽化が進み、修繕が追い付かない状況にあるが、施設利用者のニーズも取り入れた整備に努めている。		
決算額	30,595 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	引き続き老朽化が進み、危険度や不便さのある施設を優先し、整備を進める。 市の個別施設計画の策定と改修の財源確保が課題。		

事業名・担当課	No. 40	飯山市民体育館耐震化事業	スポーツ推進室
事業概要	市民体育館の耐震化工事を進める。		
取組内容及び成果	市民体育館の耐震化事業を進めるにあたって、本体工事及びトイレ改修工事を実施した。 ・市民体育館耐震改修工事 176,000千円 ・市民体育館耐震改修工事監業務委託 3,300千円 ・市民体育館トイレ改修工事		
決算額	198,605 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	特になし（完了）		

事業名・担当課	No. 41	人権同和教育推進事業	人権政策課
事業概要	人権同和教育を推進するための各種事業を実施 市民大会の開催、副読本「あけぼの」の配布、人権の花運動、人権講座等の実施		
取組内容及び成果	・第47回差別のない明るい飯山市を築く市民大会は台風第19号の影響により中止となったが、市民大会に合わせて募集した市内小中学校児童生徒の作文、ポスター、標語の作品のうち、人権作文については、文集にして大会実行委員、市内小中学校等へ配布した。また、作品は併せて353点が寄せられ、人権意識を深めることに繋げる取り組みができた。 ・副読本「あけぼの」を市内小中学校へ指導手引と活用手引を含めて配布し、人権教育の推進に努めた。 計628冊 ・いいやま人権福祉センターで開催した地域住民交流講座には延べ316名に参加いただき、人権講座には28名に聴講いただいた。 ・人権の花運動を市内小学校7校で実施し花の栽培を通じた人権学習を行った。		
決算額	782 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	・地区、集落における人権学習会開催等の機会を通じて様々な人権課題について市民への啓発・周知を行っていく。 ・地域住民交流講座については自彊術（健康体操）教室やかご作り教室など人気のある講座が定着してきている。		

事業名・担当課	No. 42	男女共同参画推進事業		人権政策課
事業概要	第3次飯山市男女共同参画計画に基づき、男女共同参画社会づくりを推進するための経費である。また、今年度は男女共同参画計画策定委員会を組織し、第4次計画の策定を行う。 6月には男女共同参画週間に合わせて講演会を開催。 また、随時男女共同参画の意識向上を目的とした講座を開催する。			
取組内容及び成果	・6月29日に元テレビ東京アナウンサーの茅原ますみさんを招いて「スイッチの切り替えが大切～仕事と家庭の両立を考える～」と題して講演会を開催し38名に聴講いただいた。 ・7月26日に公民館講堂で開催した人権同和・企業人権教育講座では男女共同参画をテーマに清泉女学院大学人間学部教授の小泉真理さんを講師に迎え、「ワークライフバランス」と題した講演を行った。150名 ・8月9日には同会場にて日本産業カウンセラー協会認定産業カウンセラーの安納吉野さんを講師に迎え、「一歩進んだ男女共同参画社会」と題して講演を行った。67名 ・11月12日には外様地区で男女共同参画学習会を開催し、漫画家の段丹映子さんを講師に迎え、「マンガで学ぼう男と女」と題して講演を行った。23名 ・男女共同参画に関する市民意識調査を7月に実施し、この結果を元に第4次男女共同参画計画（計画期間：令和2年度から6年度まで）を策定した。			
決算額	975 千円		評価	概ね順調
今後の取組・課題等	・男女共同参画週間に合わせて開催している講演会については今後も例年どおり開催していく。 ・今年度策定した第4次男女共同参画計画の目標に沿って来年度から取り組みを進める。			

事業名・担当課	No. 43	児童手当給付事業		子ども育成課
事業概要	中学３年生までの児童を対象に、国の制度に基づき児童手当の支給を行った。			
取組内容及び成果	・ 手当支給対象延べ児童数 23, 234人・月 ・ 支給月額 0才～3才未満 15,000円 3才～小学校修了前 10,000円（第3子以降15,000円） 中学生 10,000円 特例給付(一定所得以上) 5,000円			
決算額	259,817千円		評価	順調
今後の取組・課題等	国の制度に基づき引き続き事業を実施し、保護者の経済的支援を行うことにより、児童の健全育成を図る。			

事業名・担当課	No. 44	児童扶養手当等給付事業		子ども育成課
事業概要	18才未満の児童を養育するひとり親に対し、国の制度に基づき児童扶養手当の支給を行った。			
取組内容及び成果	・支給対象者128名、対象児童191名（R2年3月末現在） ・支給月額 全額支給 42,910円 一部支給 42,900～10,120円（所得に応じ） ・手当の支給により、ひとり親世帯の生活の安定を図った。 国の制度改正に伴い、年3回支給（4か月分）から年6回支給（2か月分）に変更			
決算額	78,129 千円		評価	順調
今後の取組・課題等	・国の制度に基づき引き続き事業を実施し、ひとり親家庭等の児童の福祉向上を図る。 ・受給者に対し、児童扶養手当のみでなく各種のひとり親世帯への支援制度等についても周知を図る。			

事業名・担当課	No. 45	延長保育委託事業		子ども育成課
事業概要	保育時間を超える延長保育を実施。 延長保育は市内公立全園及び私立保育園で実施。（事業費はめぐみ保育園への委託料）			
取組内容及び成果	○延長保育時間 ・保育標準時間認定（7：30～18：30）の場合 7:00～7:30（めぐみ保育園のみ）、18:30～19:30（公立は19:00） ・保育短時間認定（8：30～16：30）の場合 7:00～8:30（公立は7:30～）、16:30～19:30（公立は19:00） 臨時的に保育時間の延長が必要となる家庭に対し、延長保育を実施することにより子育て世帯の支援を行った。			
決算額	6,132 千円		評価	順調
今後の取組・課題等	共働き世帯、ひとり親世帯及び核家族化の進行等により、保育標準認定（11時間保育）が増えており、延長保育も含め対応する保育士の確保が年々困難となっている。			

事業名・担当課	No. 46	通園バス運行事業	子ども育成課
事業概要	保育園の統廃合により、遠距離の保育園に通園が必要となった世帯の支援のため、通園バスを運行。		
取組内容及び成果	○運行概要 ・しろやま保育園（斑尾） ・いずみだい保育園（外様） ・瑞穂保育園（瑞穂中央） ・とがり保育園（北瑞）		
決算額	7,707 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	今後も引き続き事業を継続し、遠距離通園世帯の負担軽減を図る。また、通園バスについても計画的に更新を行う。		

事業名・担当課	No. 47	児童クラブ等運営事業	子ども育成課
事業概要	児童に健全な遊び場を与え、健康増進と情操の向上を図るため、児童センター・児童館を設置。また、放課後保護者が不在となる小学生の健全育成を図るため、児童クラブを開設。		
取組内容及び成果	・児童センター 1 館（戸狩） ・児童館 1 館（木島） ・児童クラブ 4 館（秋津、泉台、瑞穂、常盤） 常盤児童クラブは常盤地区のNPO法人へ委託。それ以外については、飯山市社会福祉協議会へ委託。 放課後留守家庭の児童等が安心して過ごせる場を提供するとともに、児童の健全育成が図られた。		
決算額	33,316 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	今後も引き続き事業を実施し、児童の健全育成を図る。施設については、利用児童の増により施設が手狭となっている。		

事業名・担当課	No. 48	幼稚園就園奨励事業	子ども育成課
事業概要	私立幼稚園児の保護者に対し、保護者負担の軽減を図るため国の制度に基づき就園奨励費を支給。また、市の保育園と同様に第3子の幼稚園保育料を無料とするため、保護者に対し補助を行った。 また、私立幼稚園の経営安定化及び障害児の受入に対し補助を行った。		
取組内容及び成果	・ 幼稚園就園奨励費 対象者 43名 (3,467千円) ・ 第3子以降幼稚園保育料無料化補助金 対象児童10名 (1,183千円) ・ 幼稚園運営補助 (500千円)		
決算額	5,150 千円	評 価	要検討
今後の取組・課題等	飯山市内唯一の幼稚園であり、今後も引き続き支援を行う。 なお、令和元年10月より国の制度に基づく幼児教育・保育無償化事業により幼稚園就園奨励費は、9月末で制度廃止。 また、飯山中央幼稚園は令和3年度より、子ども子育て新制度に基づく幼稚園への移行（現在は私学助成による幼稚園）を希望しており、スムーズな移行が図られるように支援を行う。		

事業名・担当課	No. 49	幼児教育無償化事業	子ども育成課
事業概要	令和元年10月1日より、国の制度による幼児教育・保育の無償化が開始され、主に3歳以上児の保育料、給食費の無償化を行った。		
取組内容及び成果	・ 私立幼稚園の保育料無償化（満3歳以上） 施設等利用給付 6,547千円（対象児童 56名） ・ 私立幼稚園、保育園の給食費（副食費）無償化補助 2,388千円（対象児童87名） 月額4,500円／人		
決算額	25,910 千円	評 価	順調
今後の取組・課題等	国の制度に基づく保育料の無償化を行うとともに、無償化対象外とされた給食費（副食費）についても、飯山市独自に無償化を行い保護者負担の軽減を図った。		

事業名・担当課	No. 50	児童福祉施設整備事業		子ども育成課
事業概要	保育所、児童センター、児童館等の施設改修や修繕、備品購入を行った。			
取組内容及び成果	・しろやま保育園園庭舗装工事		4,796千円	
	・秋津保育園ボイラー入替工事		578千円	
	・いずみだい保育園ボイラー入替工事		1,944千円	
			他	
保育環境の向上及び施設の適切な維持管理が図られた。				
決算額	7,583 千円		評価	概ね順調
今後の取組・課題等	全体的に施設の老朽化が進行しているなかで、大規模修繕が必要な施設が増えており、今後の施設整備のあり方等を検討する必要がある。特に増加する保育園の未満児への施設的な対応が課題であり、今後の保育園のあり方（統合）を検討する中で順次整備を図っていく必要がある。			

事業名・担当課	No. 51	保育園エアコン緊急整備事業（H30繰越）		子ども育成課
事業概要	保育園全園のエアコン未設置の保育室にエアコンを設置し、保育環境の改善を図る。（平成30年度繰越し事業）			
取組内容及び成果	エアコン設置保育室 23室 公立保育園8園について、保育園ごとに事業発注を行い7月中に全て設置完了することができた。			
決算額	25,910 千円	評価	順調	
今後の取組・課題等	保育室については、全ての部屋にエアコン設置することができたが、今後は、給食調理室へのエアコン設置や老朽機器の更新などを計画的に実施していく必要がある。			

事業名・担当課	No. 52	家庭児童相談室設置事業	子ども育成課
事業概要	児童の発達、養育等の各種相談に対応するため、家庭児童相談員を配置し、支援を行った。		
取組内容及び成果	- 相談員 3 名（室長 1 名、家庭児童相談員 2 名） - 令和元年度中 新規相談件数 1 0 3 件 - 令和元年度中 延べ相談訪問件数 6 9 6 件 - 要保護児童対策協議会（代表者会議、実務者会議、連絡調整会議） 複雑な相談・ケースも年々増えており、関係機関（児童相談所、保健所、学校、市関係各課等）と連携を取りながら支援を行った。		
決算額	6,842 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	今後も引き続き事業を継続し、児童の養育等福祉の向上を図る。 年々相談件数が増えており、相談員の負担が増えている状況である。 また、要保護児童対策協議会（児童虐待対策）についても、関係者との連携強化及び機能強化を図る必要がある。		

事業名・担当課	No. 53	飯山市子ども館等運営事業	子ども育成課
事業概要	子育てに関する複合施設である飯山市子ども館「きらら」の運営及び各種子育て支援施策を行った。		
取組内容及び成果	【機能】 児童センター（自由来館）、放課後児童クラブ（飯山小） 子育て支援センター、病後児保育、放課後等デイサービス 外構整備工事 1,890千円 児童の遊び場所拡充のため、舗装工事、フェンス設置を行った。		
決算額	31,873 千円	評 価	概ね順調
今後の取組・課題等	土日・長期休み中等、魅力あるイベント等を企画し、さらに利用者増を図る（特に飯山小学校以外の児童の利用促進）。また相談機能についても、機能強化を図る。		